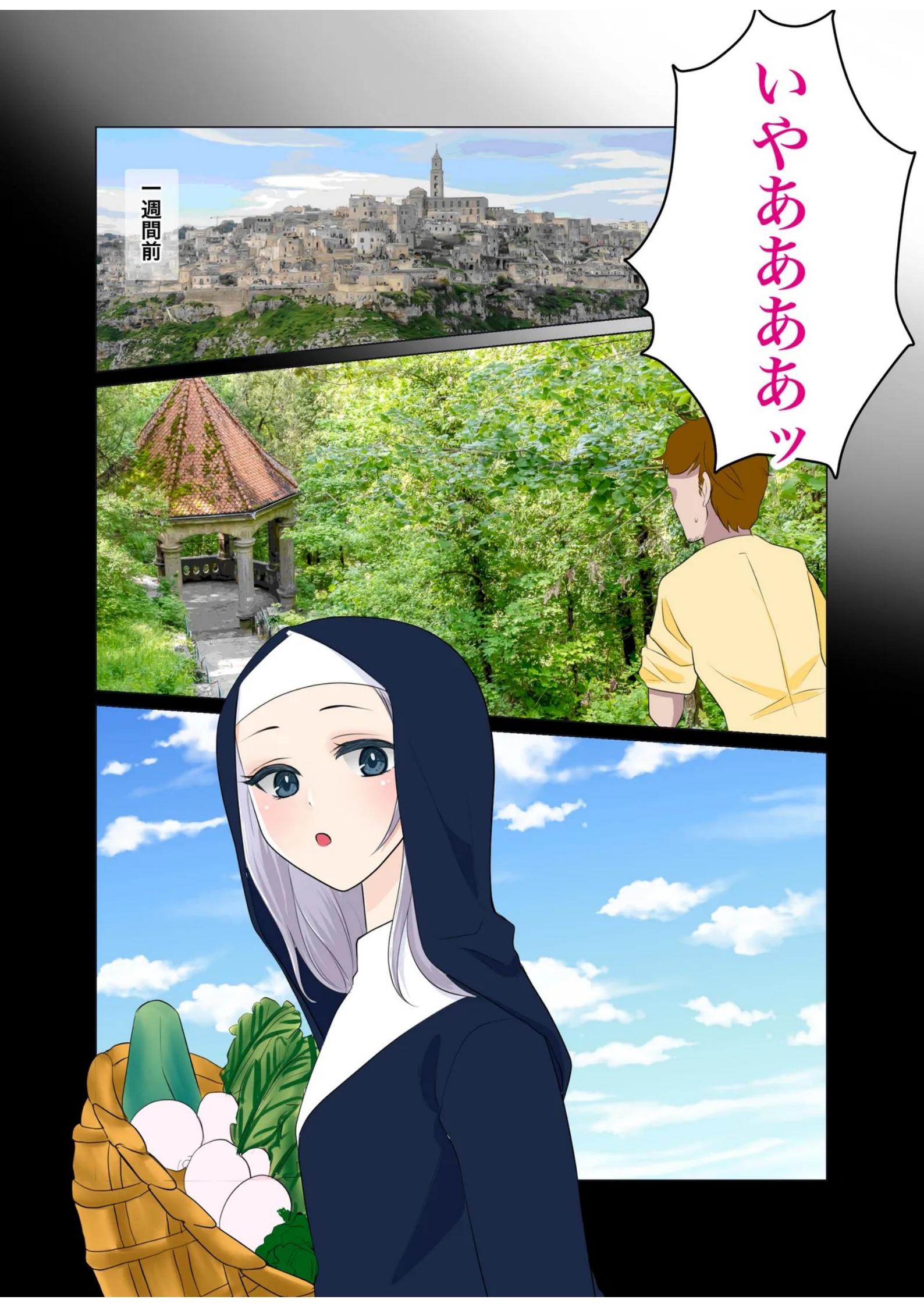
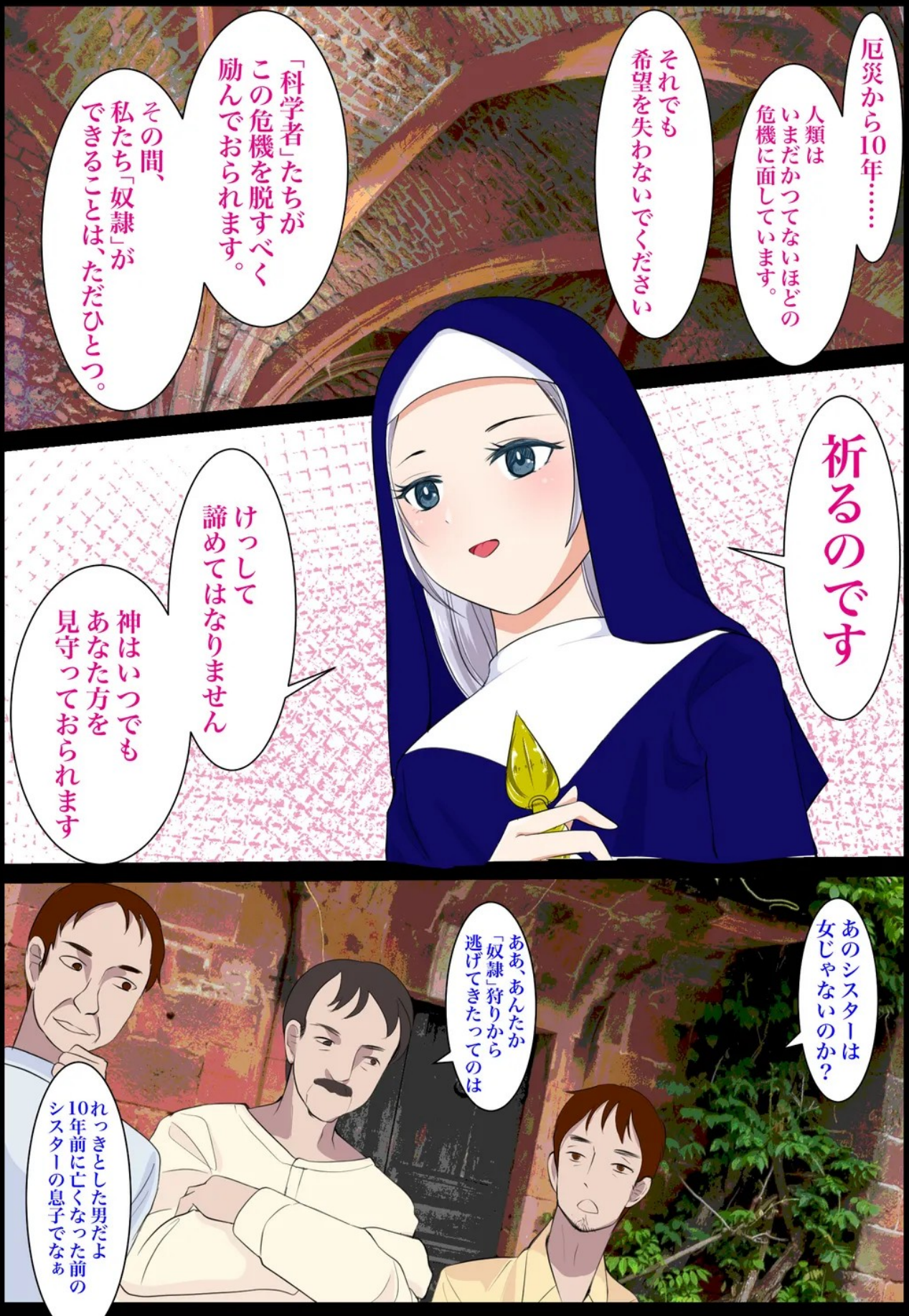

汝シスター♂に懺悔すべし


ああっ♡♡
ほんとエロいシスターだなっ
きもちい♡♡
なぁ、いま催眠解いたらどうなるかな
はっ♡あ♡♡
ぱちゅ
ぱちゅん
ぱちゅ
ぱちゅ
もっと……もっとぉ♡♡
ひひひやってみんぜ
ぱあん!
ぱあん!
ぱあん!
パーン!


……
えっ？
汝♥シスター♂に
懺悔すべし


いやあああああッ
一週間前

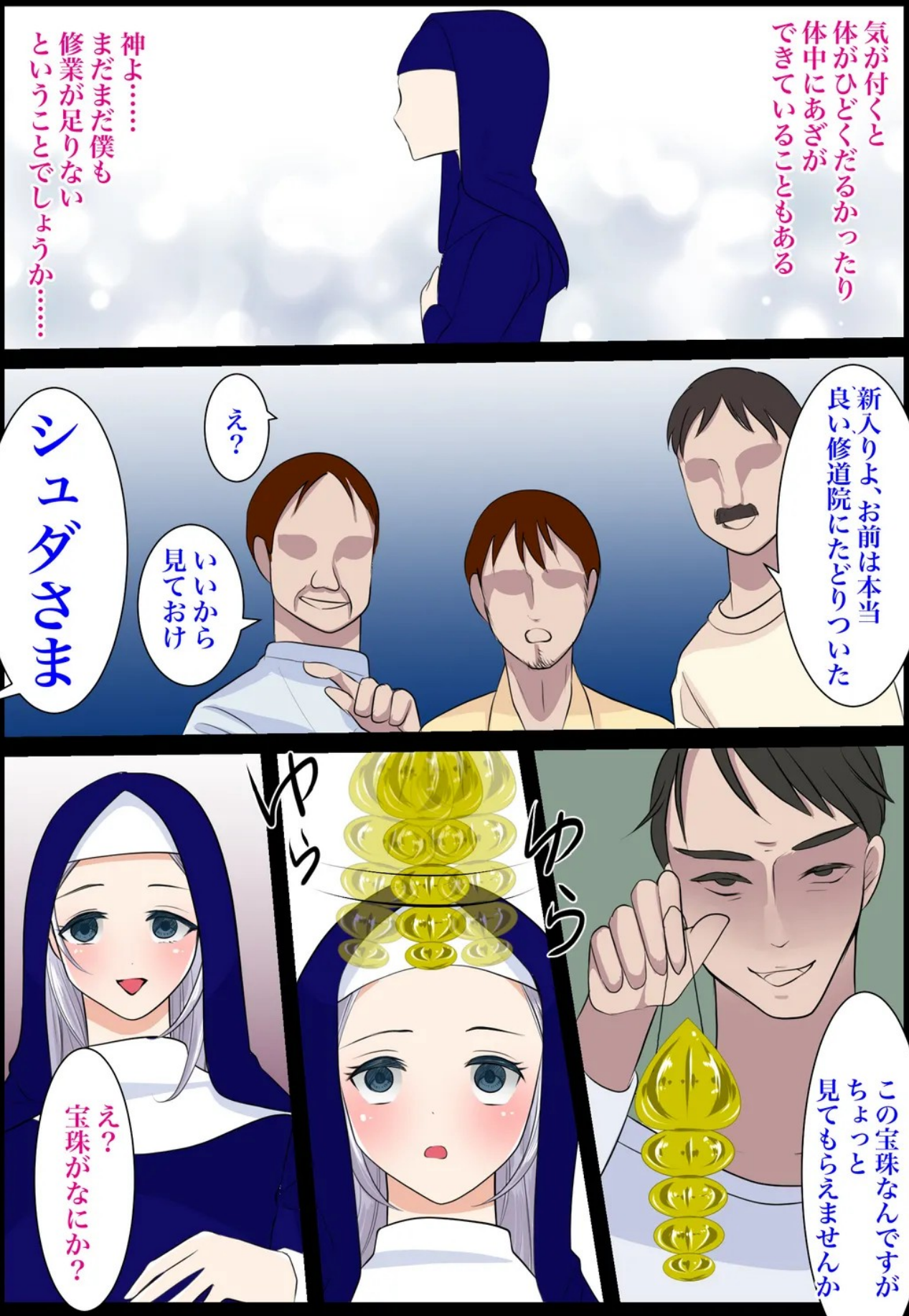

女……？
いやまさか
女は10年前に
途絶えたはず……
今から50年前……
地殻変動がおこり、
地球上では
急激な環境の変化が起こった
その影響で地球上から、
人間の女が絶滅した
科学者達は日夜、研究に励むが
いまだ女体を生成するに至っていない…
イタヴァルから
逃げてこられたのですね
もう大丈夫、
軍もここままでは
追ってはきません

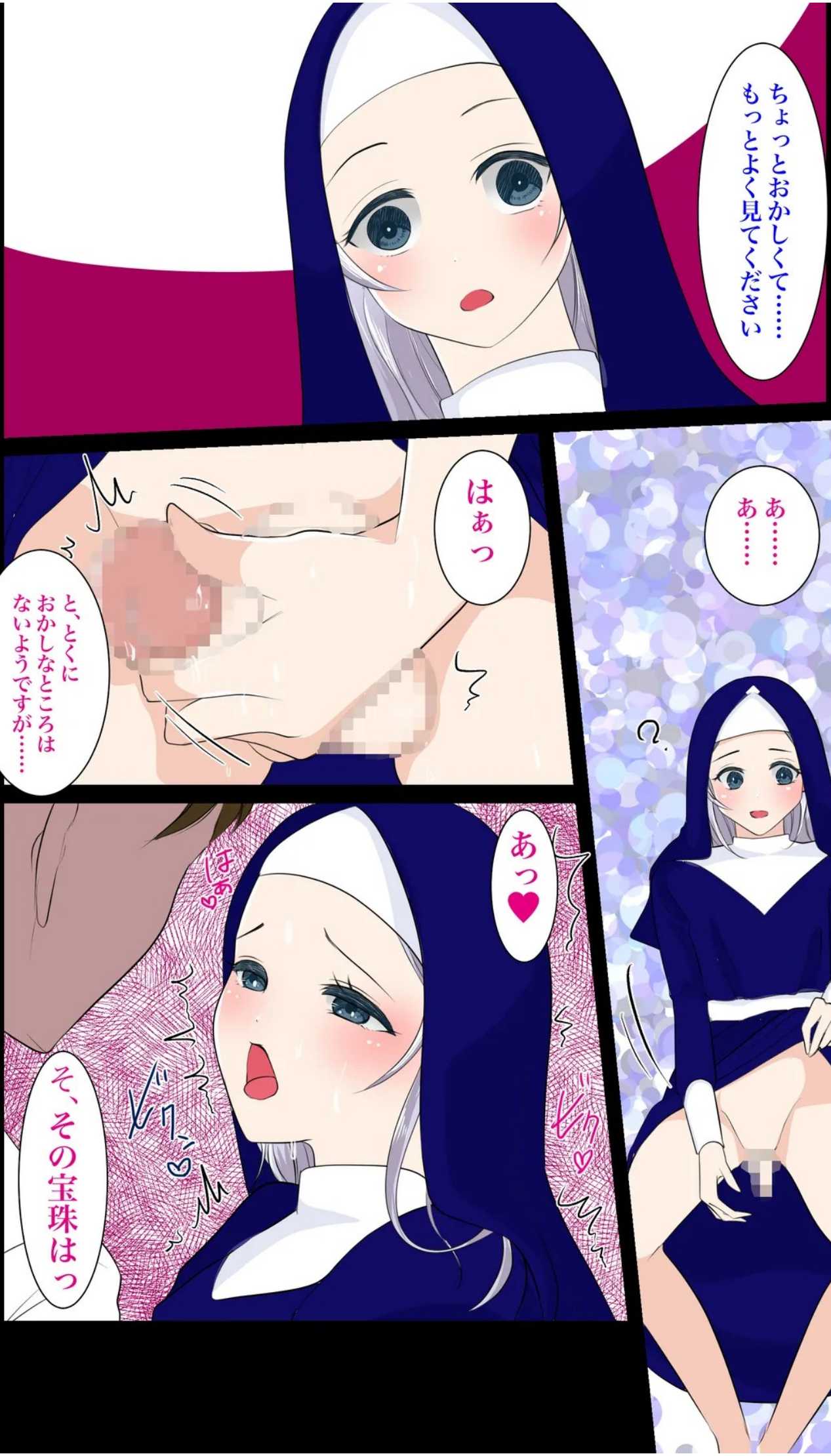

厄災から10年……
人類は
いまだかってないほどの
危機に面しています。
それでも
希望を失わないでください
「科学者」たちが
この危機を脱すべく
励んでおられます。
その間、
私たち「奴隷」が
できることは、ただひとつ。
祈るのです
けっして
諦めてはなりません
神はいつでも
あなた方を
見守っておられます
あのシスターは
女じゃないのか？
ああ、あんたか
「奴隷」狩りから
逃げてきたってのは
れっきとした男だよ
10年前に亡くなった前の
シスターの息子でなぁ

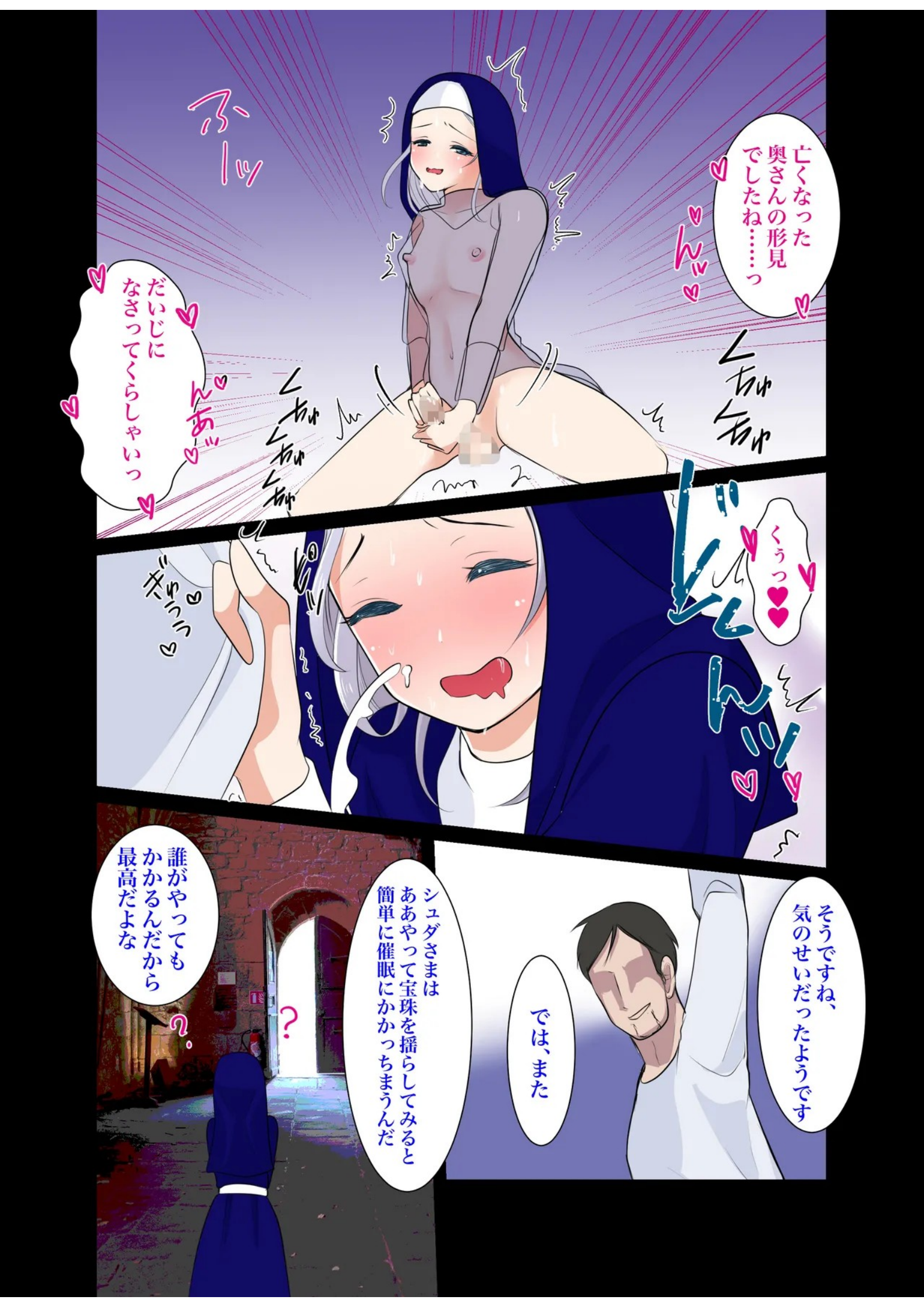

真面目で
優しくていい子だよ
俺らがどんだけ
あのシスターに
助けられてるか……
ふらっ
シュダさまっ

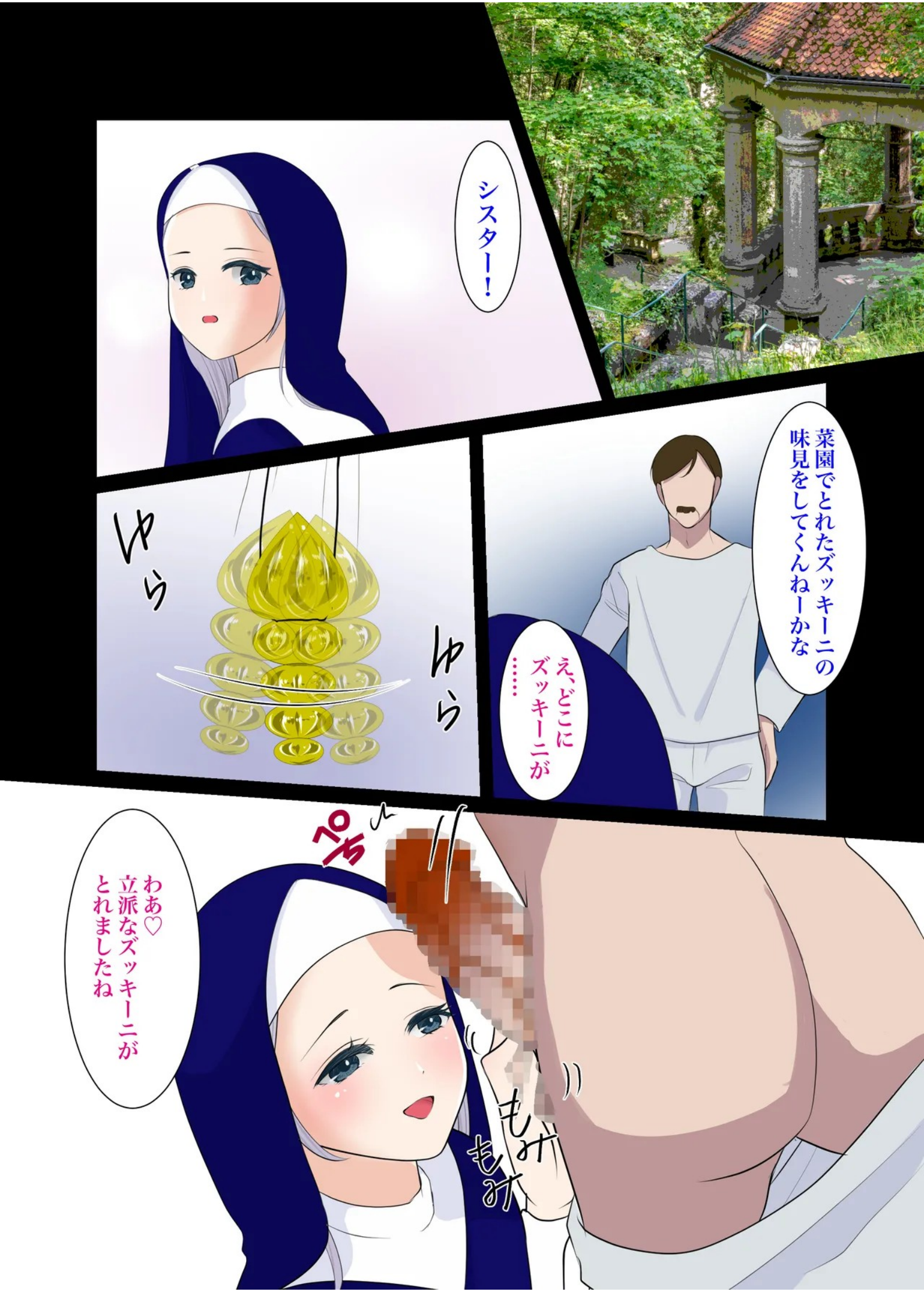

はは、情けない……
ただの立ち眩みです
心配させて
しまいました

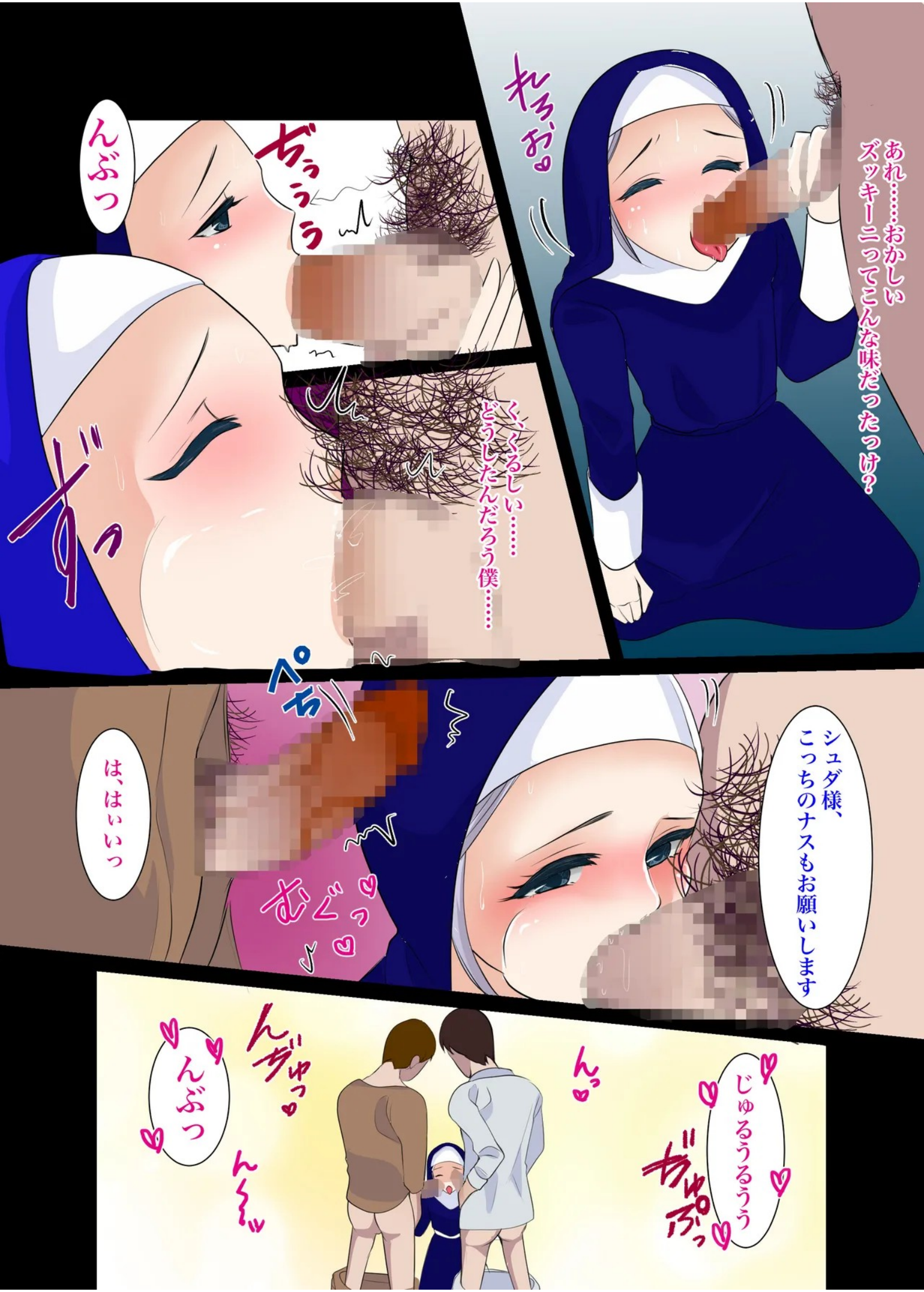

シュダさま
最近根を詰めすぎじゃありませんか
少しお休みになっては
いえ、人類の危機が
迫っているこの時期に
休んでなんていられません
とはいえ……
ちかごろ時々
記憶があいまいな時がある

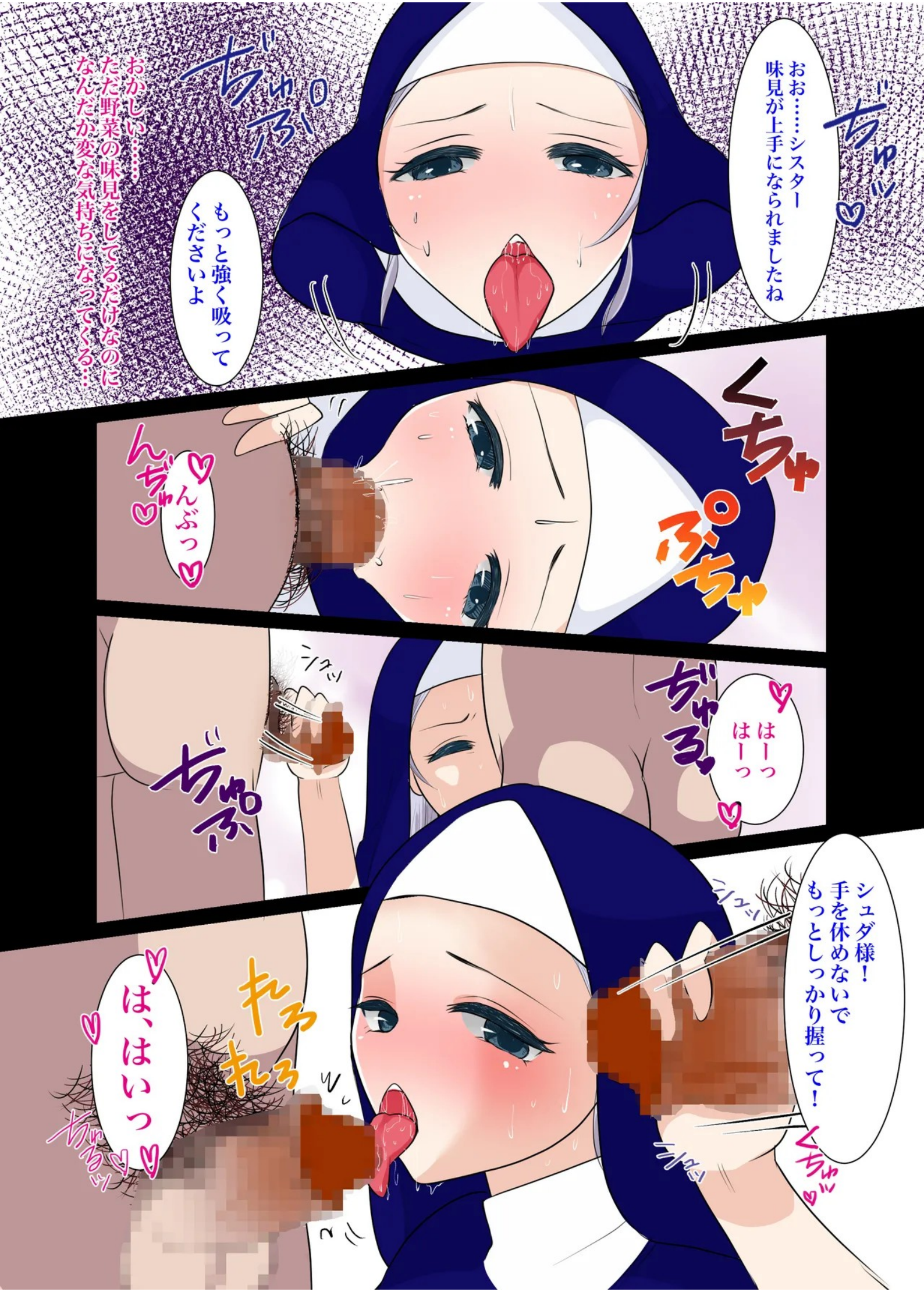

気が付くと
体がひどくだるかったり
体中にあざが
できていることもある
神よ……
まだまだ僕も
修業が足りない
ということでしょうか……
新入りよ、お前は本当
良い修道院にたどりついた
え？
いいから
見ておけ
シュダさま
この宝珠なんですが
ちょっと
見てもらえませんか
ゆら
ゆら
え？
宝珠がなにか？

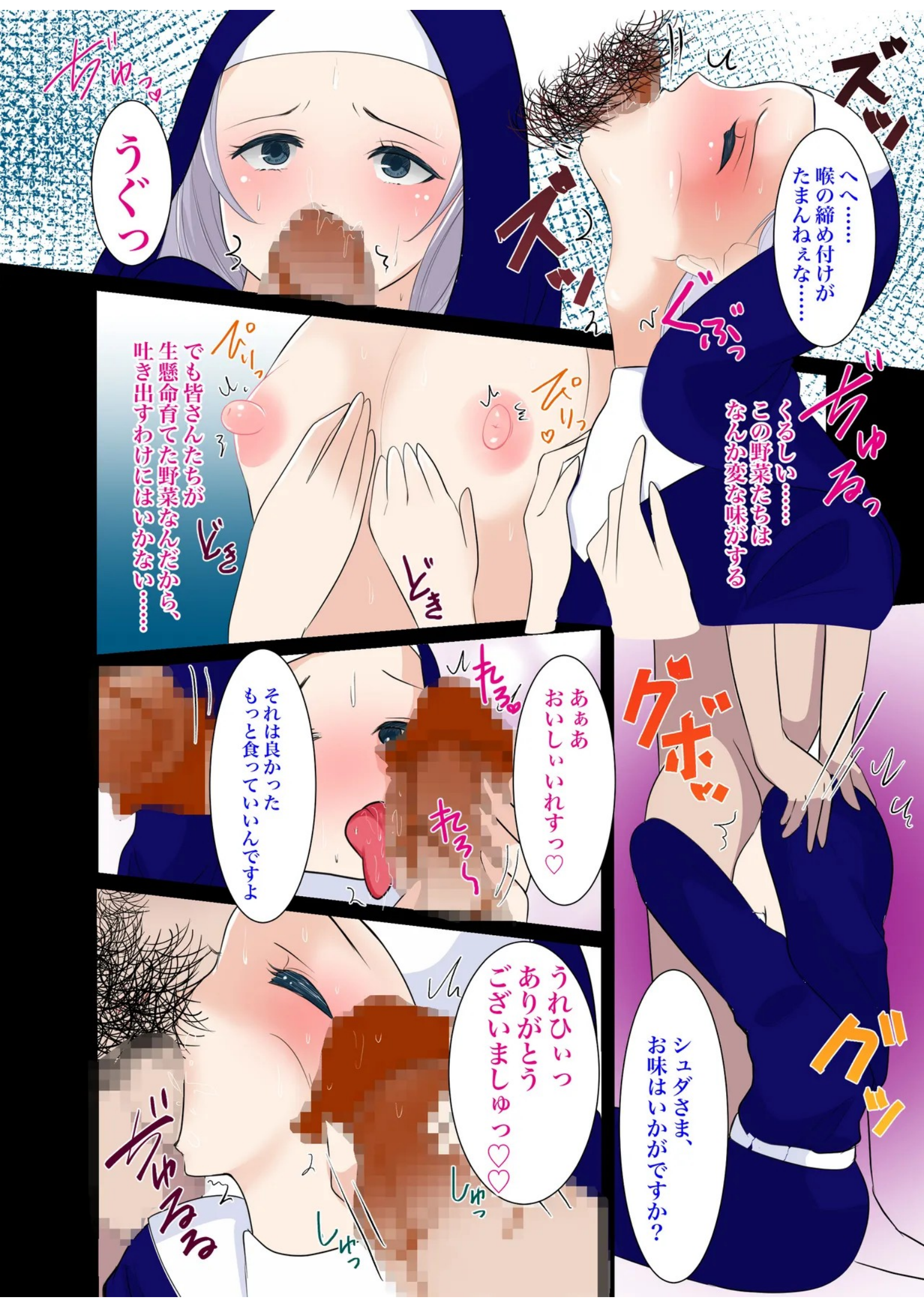

ちょっとおかしくて……
もっとよく見てください
あ……
あ……
はぁっ
と、とくに
おかしなところは
ないようですが……
あっ♥
そ、その宝珠はっ

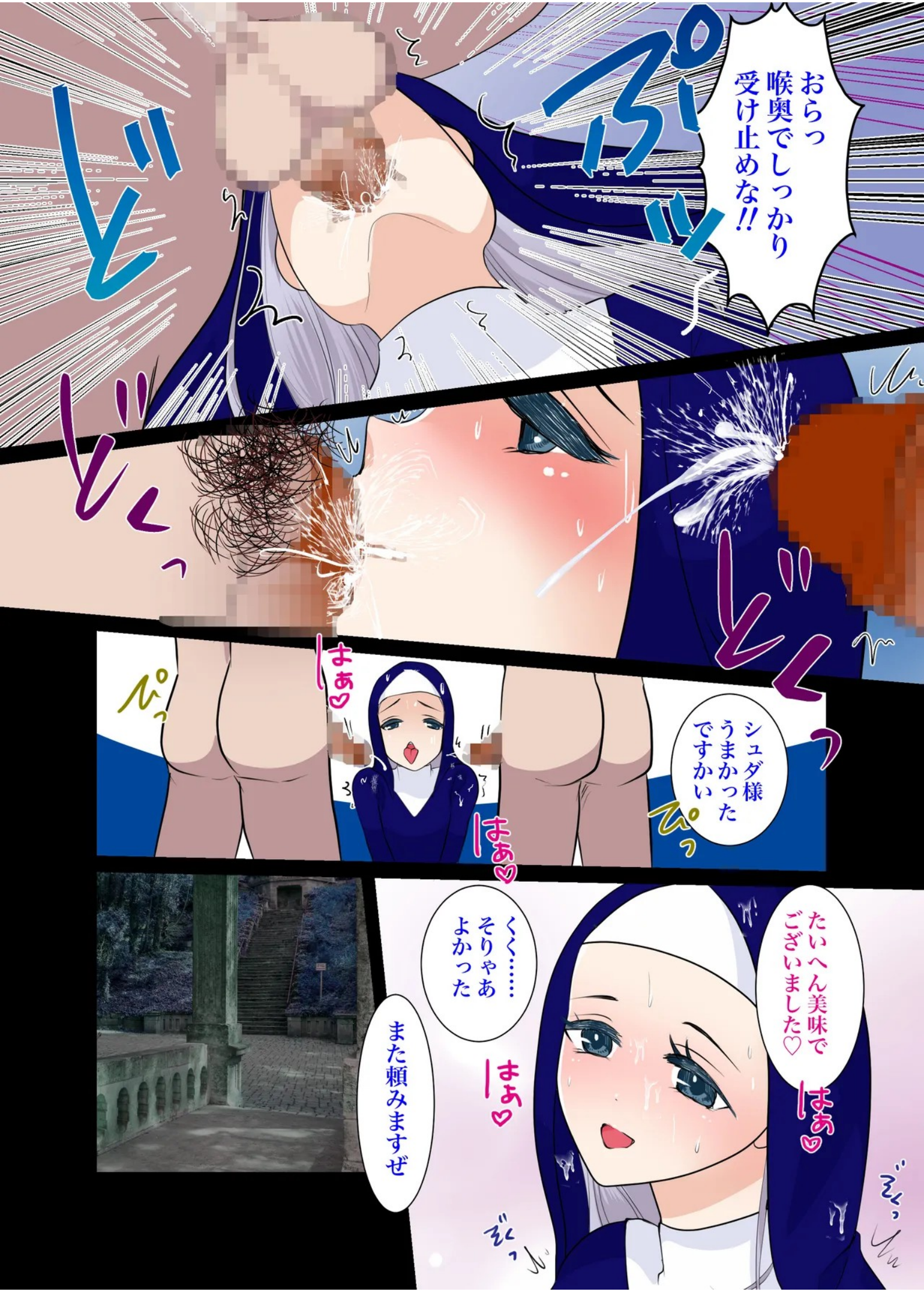

亡くなった奥さんの形見でしたね……っ
だいじになさってくらしゃいっ
くぅっ♥♥
そうですね、気のせいだったようです
では、また
シュダさまはああやって宝珠を揺らしてみると簡単に催眠にかかっちまうんだ
誰がやっても最高だよな


シスター！
菜園でとれたズッキーニの味見をしてくんねーかな
え、どこにズッキーニが……
ゆら
ゆら
ペろ
もみもみ
わあ♡立派なズッキーニがとれましたね


あれ……おかしい
ズッキーニってこんな味だったっけ？
れろぉ
んぶっ
ずっ
ずっ
く、くるしい……
どうしたんだろう僕……
シュダ様、
こっちのナスもお願いします
は、はぃいっ
ぱち
むぐっ
じゅるうるうう
ぐぽっ
んっ
んぶっ
んぐっ
んくぅ


ちゅッ♡
おお……シスター
味見が上手になられましたね
ぢゅるるる
おかしい……
ただ野菜の味見をしてるだけなのに
なんだか変な気持ちになってくる…
もっと強く吸ってください
くちゃ
ぷちゅ
んぢゅ♡
んぶっ♡
はーっ
はーっ♡
ぢゅるる
シュッ
シュッ
シュッ
シュッ
シュダ様！
手を休めないで
もっとしっかり握って！
くちゅッ♡
れろ
れろ
は、はいっ♡
ぢゅるッ♡


ズン
ズン
へへ……
喉の締め付けが
たまんねぇな……
ぐぶっ
ぐぶっ
うぐっ
くるしい……
この野菜たちは
なんか変な味がする
ぴりっ
ぴりっ
でも皆さんたちが
生懸命育てた野菜なんだから、
吐き出すわけにはいかない……
どき
どき
れろ
れろ
あぁあ
おいしいいれすっ♡
それは良かった
もっと食っていいんですよ
グボッ
グッ
シュダさま、
お味はいかがですか？
うれひぃっ
ありがとう
ございましゅっ♡♡
しゅっ
しゅっ


おらっ
喉奥でしっかり
受け止めな!!
ぷっ
どぴっ
どぴっ
どぴっ
はぁ♡
シュダ様
うまかった
ですかい
ぷっ
はぁ♡
たいへん美味で
ございました♡
はぁ♡
くく……
そりゃあ
よかった
はぁ♡
また頼みますぜ


こんなところで
寝てしまったようだ……
口の中が変な臭い……
こ、この臭いは……
なんてことを
考えるんだぼくは！
シスターは
性的なものは神に
禁じられている！
考えるだけでも
おぞましい……
神よ……
お許し給え……
シスター！
こんな夜遅くまで
お祈りですか
熱心なんですね
あなたは
昨日の……
実は私、宝珠を
持っていないんです
もし
予備のものがあれば
お借りできませんか
それではこれを
この修道院のシスターが
代々受け継いできた宝珠です


そんな
大事なものを……
かまいません
隣人が困っていたら
手を差し伸べるのは
当然のことですから
そうですか……
では、シュダ様には
お礼に気持ちよくなって
いただきましょう
シュダ様
スカートを上げて
尻をこちらに向けてください
こ、こうですか？
ぺろん


パンツも履いてないんですかはしたないですね
パチン
あひっ!!か、神は下着を着けることをお許しになっていません……っ
ああ……あなた方の神はそうでしたね……
では尻の穴を自分で拡げることは？
むあっ
むにぃ
あぁ……っお、お許しになっていましぇん……っ
あれ……なんかお尻がスースーするそれに、なんだかムズムズする……
シスター、こういう時はなんとお祈りするのですか
パチン
お、お祈り申しあげます……っ
ぼくの……っ、ぼくの汚くもいやしいアナルに……
はあっ
あなたさまの聖棒を埋め込んでくださぃ……っ！


え……？
ぼくは今何て……？
よく
できました…っ!!
ずっ
おうっ
おうっおうっ♥♥♥
パン
パン
ああああ
ありがとう
ごじゃいましゅ～～
♥♥♥♥♥♥♥♥♥
ずっ
ぼくっ
ぼくのなかっ
ズチュ
ズチュ
んとはしたない
シスターだなっ
聖棒でもっと
ごりごりしてぇえええっ
♥♥♥♥♥
ズッ
ペチ
地獄に堕ちるぞ!!


いやあああああ
やらっ、かみしゃまっ
み、みないれっ
ズッ
ズッ
ずる
ずる
おかしい……
お尻が熱くて
きゅんきゅんする……
はあ♡
ずちゃ
ずちゃ
おうおおおおッ
おうっ?!
おう?!
ずっ
いぐっ
いぐううう
はあ♡
はあっ♡
ずちゃ
ぐぢゃ
ぐぢゃ
ぐぢ


また体がだるい……
シュダさま
ああ……申し訳ありません……
そろそろ夜のお祈りの時刻なのですが……
あれ……僕なにしてたんだっけ……
はぁ♡
ビクッ
はぁ♡
ビクン
はぁ♡
ビクッ


ハハ……
もうご準備は
お済みなんですね
ぶらぶら
……？
ズズッ
シュダ様
お待ちしておりました
え……
あ……あ……
は……っ
は……♡


シスターとあろうお方がはしたない
はぁ♡
ぐぐっ
私が沈めて差し上げましょう
はぁ♡
シュダ様、神に祝福を
は、はい……
はぁ♡
ふっ♡
わ、われらが神よ……っ申し上げま……すっ
皆さんたちも真面目にお勤めされている……
ガク
ガク
ムチャ
プルン♡
かならずや神も見ておられることだろう


はぁっ
はぁっ
うぅんっ！
はぁ♡
レロレロ
でちゃうッ
あ……まずい……
この感覚は
レロレロ
くに♡
くにくに
ぐにゅ
きもちいぃ……
はぁ♡
ぐにゅん
ぺろ
はは、
それは良かった


ではシュダ様
私の聖棒に宿った悪魔を
鎮めていただけますか
ぽろん
はあっ♡
はいい♡♡
ぺろ
ちゅぷ
ビク
穴がすでに
パカパカしてるぜ
それは鎮めて
やらないとな
シュダ様、
ご自分でできますか
はーッ
むにっ
もあっ


んっ
んっ
ズッ
ズズッ
そう、
お上手です……
ずッ
ああ……
お尻が
気持ちいぃ……♡♡
んぶっ♡♡
ぢゅ♡
お祈りの最中
だというのに
こんな気持ちよく
なってしまうなんて
ぢゅっ
ぢゅぼぼっ
はは、
自分からケツを
振ってやがるぜ
ん♡
なんて
やらしい穴を
しているのかっ
ぢゅっ♡
ん♡
ぢゅ
ズっ♡
んぶぶっズッ
♡♡♡


ぶしゅっ
ぶぴっ
ぷっ
ちゅぽん
はあ……っ♡
はーっ♡
はーっ♡
今日も皆さまお疲れさまでした
明日も良き日が迎えられますよう……


はあ♡
シスター
お待ちください
後ろから
聖液がでています
宝珠で
栓をしましょう
あ……♡
ずっ
ずっ
ふ、ぅうんっ
ずっ
いかが
されましたか？
い、いえっ、
なんでもありませんっ
ゴリっ♡
ゴリっ
お、おうっ


どこかお悪いのでは？w
だっ、大丈夫です
もう行きますね……ッ♡
お、おうっ
あ……あぅっ
ではお休みなさいませ
はあっ、あ……


おかしい……
お尻の違和感がひどい……
はぁ♡
はぁ♡
じゅぼっ♡
じゅぼっ♡
抜けないだけならまだしも……
はぁ♡
ふーっ♡
気持ちいい……♡♡
ぼく、どうしちゃったんだろう……
頭がぼーっとして体も自分のものじゃないみたいだ……
ずりっ
はううっ
ブーリッ
ニュボ♡
ニュボ♡
うう♡


とぷっ
シュダ様
朝のお祈りの時間です
お、お祈り
申し上げます
はあ♡
ずっ
我らが神よ
愚者たる我らを導きたまえ
ずっ♡
はあ♡
ぐぢゅみ♡
れろぉ♡
ぢゅ♡
シュダ様
あなたのいやらしいケツ穴が
緩みまくったところを
神様に見て頂きましょう
れろ♡

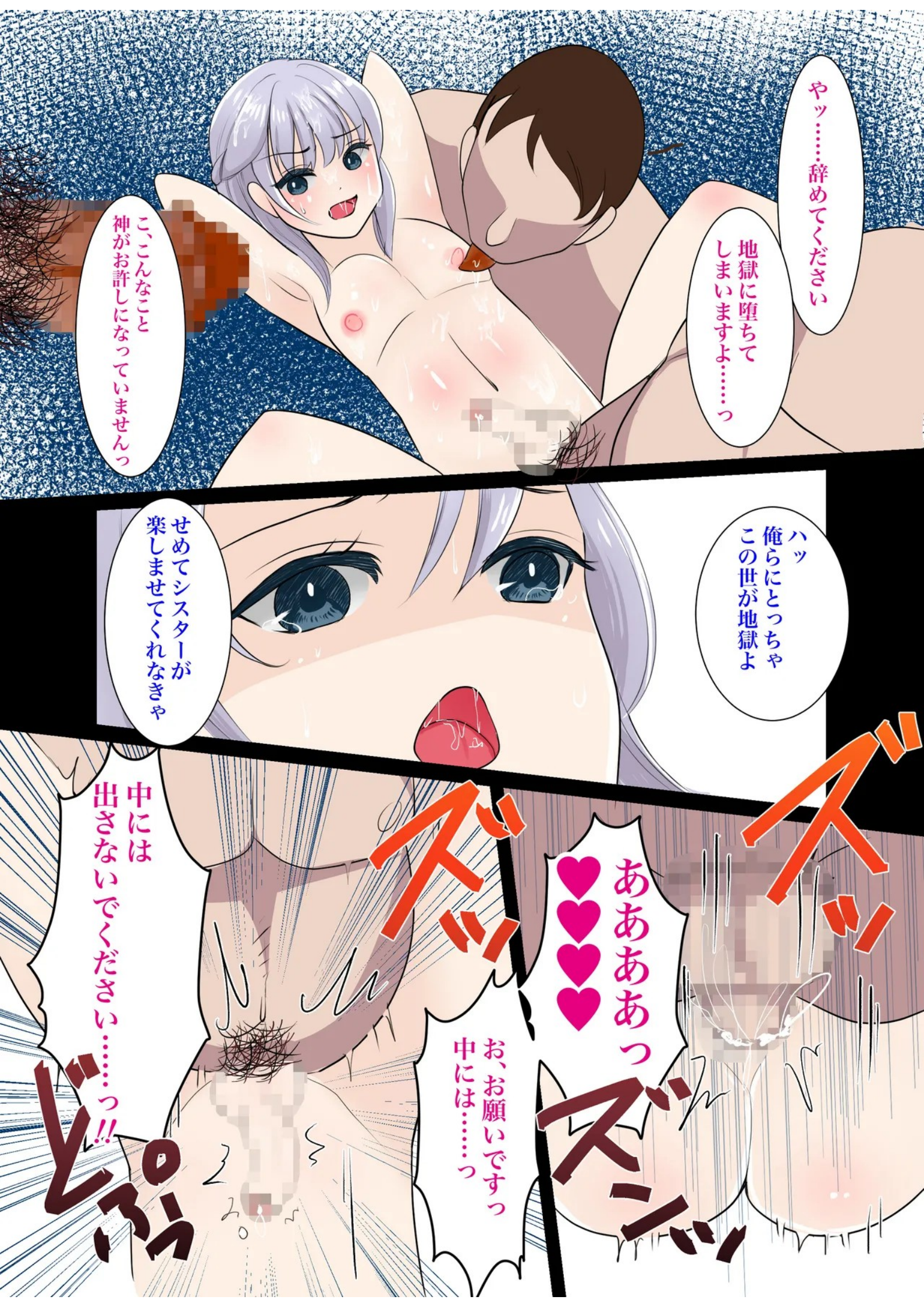

ぢゅぱ
神に仕える身だとは思えないほど淫乱だっ
ずっ
ここですかっ
ここがいいのですねシスターっ
パン
パン
なんて汚らしい音を出しているんだっ
ぐっちゅ
ぐっちゅ
この汚れきった穴から発せられる歌をもっとお聞かせください
神がこの音を聞いたらどう思うでしょうねっ
ぢゅ
ズッ
ズ


ぐぷっ
ズーッ
ずっ
ずっ
ずっ
あっ
それにしてもシュダ様
なんであんなのでかかるんだ？
催眠術なんて
俺ら使えるわけないのにな
へへ……
良いこと考えたぜ……
パンッ
パンッ
あぁ
あぁ
おっ
おっ
催眠術何て関係ねぇ
もとから淫乱だったってことよ

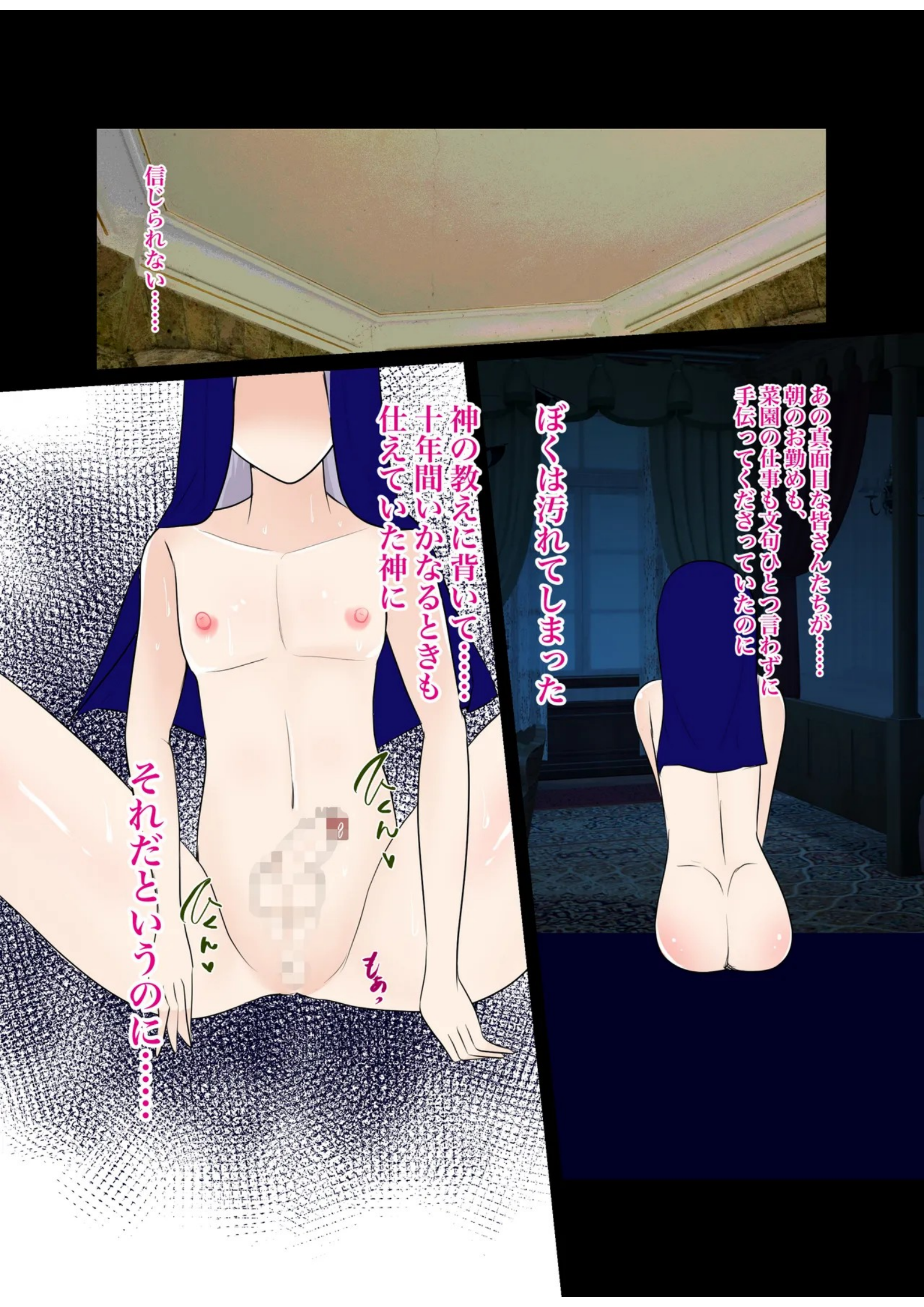

ズンッ
はぁっ
ずりゅ
あっ
ぢゅ
ぢゅる
ずりゅりゅ
ああんっ
ぢゅぶ
ズンッ
シュダ様っ
ズッ
れろっ
おうっ
うっ
ぱ
まだ祝福をあげてるぞ
おれら神なんて
どうでもいいのにな、
ごくろうなこったよ
でも、もうそろそろ
飽きて来たな
それ、催眠を
解いてやろう
あぁん
あ


……あ、あれ？
ぼくはここで
なにを……
きゅうぅん
み、みなさん
一体何を……
ははっ、やっと
正気に戻ったか
かかるのも簡単なら
解けるのも簡単だったな
や……
離してください


何を今さら言ってんだ？
ここをこんなにしといてよ
ぴくっ♡
ぴくんっ♡
は……っ？
うそだ……っ
ぐぐっ
けけっ
なにがうそな
もんか
ぐちゃっ♡
おうっ!?
ぐぢゅっ
おお……
俺のチンポを
吸い付いて
はなさないぜ♡
ちゅぽ
ちゅぽっ
ぐぢゅっ
ぐぢゅっ♡
ぐぢゅっ♡
ぐぢゅっ♡


やッ……辞めてください
地獄に堕ちてしまいますよ……っ
こ、こんなこと神がお許しになっていませんっ
ハッ俺らにとっちゃこの世が地獄よ
せめてシスターが楽しませてくれなきゃ
ズッ
ズッ
ズンッ
ああああっ♥♥♥♥
お、お願いですっ中には……っ
中には出さないでください……っ!!
どぴゅっ


神のもとに
行けなく
なってしまう……!!!
ズチュ
じゃあいっしょに
地獄に参りましょうや
ズン
あああああ
うそそそそそそそっ
ううっ


信じられない……
あの真面目な皆さんたちが……
朝のお勤めも、
菜園の仕事も文句ひとつ言わずに
手伝ってくださっていたのに
ぼくは汚れてしまった
神の教えに背いて……
十年間いかなるときも
仕えていた神に
それだというのに……



神よ、これが貴方の答えですか




おっおっおっ♥♥♥
はあ♥
レロン
はあ♥
プルン
もっと、奥を責めてくだしゃいっ♥♥♥♥♥♥♥
ズッズッ
らめっもっともっとぉおおお
きもちぃいいっ
ビクビクっ
ああああああ
ああああうんっ
ぷしゃっ


はあ♡
つぎは俺だっ
締め付けやべえ
中がトロトロでチンポ溶けるッ
はあ♡
ズーッ♡
ぱっ
ぱっ
すげぇ乳首がビンビンに勃ってきたぜ
ぱっ
ズッ
いぐっ
ズッ
いぐうううう


はぁっ♡
あぁ♡
きもちいいいっ
んんんんんっ
ジュッ
ズッ
おーおー
苦しそうだ
ズッ
ぢゅっっ♡
お、
締め付けが
強くなってきたぞ
グッ
んぐっ♡
ぐっ♡
ぷぷっ
おらっ
ちゃんと
ぜんぶ飲みこめよっ
ズッ
ズッ
ぐいっ
うううんんん
ぷぷっ


れろぉ
お掃除もシスターのお仕事ですからぁ♡♡
しゅっ
れろっ
しゅっ
シュダ様は本当エラいなぁ
いつなんどきもシスターの仕事を忘れないんだからな
あ♡
ぼくは皆さんあってのシスターです♡♡
ぱあ♡


あぁ……愛しい皆さんの聖棒……♡♡
もっと……
もっと
皆さんの愛を
僕に注いでください♡♡


神よ、
これが僕の答えです
女の居なくなった
この世界に
それでもせめてものやすらぎを
貴方の教えに背こうとも、
ぼくはこの者たちの妻となって生きましょう